

障害者支援施設デジタル技術等活用支援モデル事業

3年度予算額:68,822千円

実施目的

モデルとなる障害者支援施設において、デジタル機器・ロボット介護機器（以下「デジタル機器等」という。）の適切な使用方法や効果的な導入方法を検証し、その成果を普及啓発することにより、支援員の負担軽減、利用者の安全確保を図り、効率的で働きやすい環境の構築、利用者の生活の質の向上を目指す。

事業概要

I 導入支援モデル事業

障害者支援施設におけるデジタル機器等の効果検証をするため、以下の2点を行う。

- (1)専門的知見を有するアドバイザーによる、モデル施設に対するコンサルティング及び効果検証
- (2)モデル施設の機器導入に対する補助

(1)アドバイザーの関与

○デジタル機器等に関する知見を有する○障害者支援施設 計6施設（公募により選定）
コンサルタント 1者（入札により選定）

○業務内容

- ・モデル施設選定への関与
- ・導入前コンサルティング
- ・効果検証方法の提示
- ・支援計画の作成
- ・モニタリング及び支援
- ・月次及び年次報告
- ・成果報告会の開催

(2)機器導入に対する補助

○デジタル機器等に関する知見を有する○障害者支援施設 計6施設（公募により選定）

種類	募集数	補助基準額	補助率
デジタル機器	3施設	20,000千円	2/3
ロボット介護機器	3施設	6,000千円	2/3

○補助対象機器

・デジタル機器 ※原則①～③の全ての導入が必要

①見守り支援機器

②情報共有機器、記録作成支援ソフト、タブレット端末等

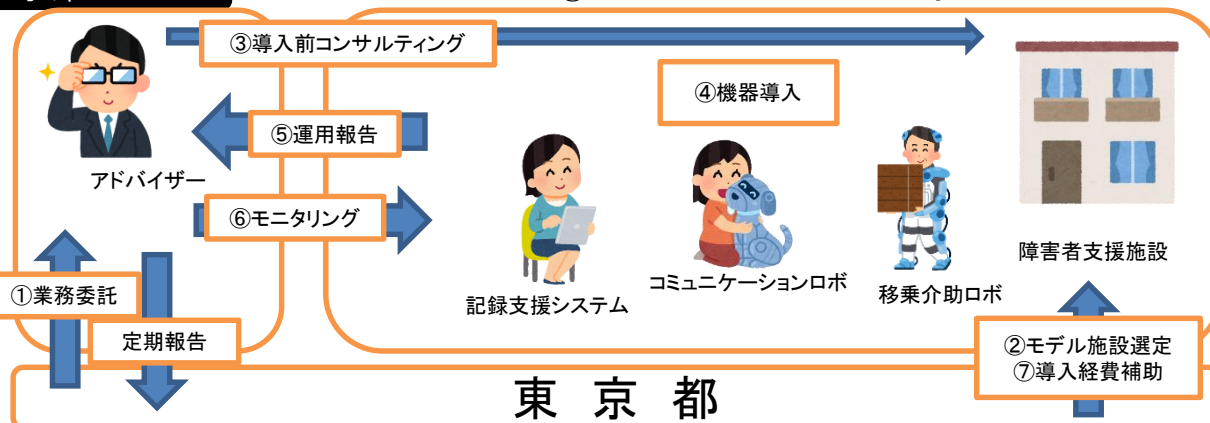
③無線通信環境

・ロボット介護機器

①移乗支援、②排泄支援、③見守り、④入浴支援

⑤コミュニケーションロボット 等

事業イメージ



II 普及啓発事業

○成果報告会の開催

モデル施設での効果検証結果などを発表し、障害分野におけるデジタル機器等の普及啓発を目的とした報告会をアドバイザーが開催する

○開催時期 令和4年3月頃

○実施規模 500人程度の参加を想定



実施スケジュール(予定)

○事業全体のスケジュール

令和2年度	令和3年度		
アドバイザー選定	機器選定		成果報告会
モデル施設選定	機器導入・モニタリング		

○アドバイザーの選定

総合評価方式実施の準備:12月～

技術審査委員会:3月上旬 決定:3月中旬

○モデル施設の選定

募集:2月下旬～3月下旬

選定委員会:4月中旬 決定:4月末

導入モデル事例

○デジタル機器

※原則①～③全ての導入が必要



① 見守り支援機器



② タブレット



② 記録システム



③ 無線LAN

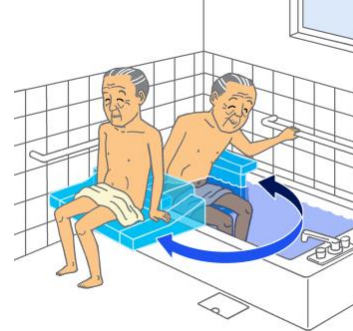
○ロボット介護機器



移乗支援



排泄支援



入浴支援



コミュニケーション